

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」富士宮校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 12日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 11月 12日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幼稚園や保育園での現場経験があり、園生活を理解した職員が在籍していること。	保育園・幼稚園での実務経験をもつ職員の知見を共有し、基本的な発達段階について職員間の共通理解を深めながら、子どもの状態把握と支援内容の検討を行い、支援の質向上に努めている。	利用者が通園している園への訪問や、外部研修への積極的な参加を通して、支援の質の向上に努めている。
2	育児経験者、支援級の支援員経験者、高校教員経験者など、幅広いバックグラウンドをもつ職員が、多角的な視点から支援できる体制が整っていること。	職員それぞれの経験を生かしながら、定期的な情報共有やケース検討を通して、多角的な視点から支援を行う体制づくりを意識している。家庭・学校・将来を見据えた一貫性のある支援を大切にしている。	保護者様や関係機関との連携を強化し、将来を見据えた質の高い支援の提供を目指している。
3	個別支援を基本としながら、利用者様の様子や発達状況に応じて、個別療育と小集団療育を柔軟に使い分けていること。	利用者様の様子を職員間で共有し、家庭との連携も行いながら、支援方法の改善・工夫を継続している。	園や家庭との連携を深めつつ、将来を見据えた支援計画を継続的に検討し、子ども一人ひとりの成長を支える体制の充実を図っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援センターとの連携が弱いこと。	連絡や情報共有の仕組みが十分に整っていないこと、職員の業務多忙による調整時間の不足。	情報共有を定期的に行えるような仕組みや体制作りに努めていく。
2	未就学児向けの環境整備が十分でない。	教材や支援スペース、活動の動線の工夫に改善の余地がある。	安心して過ごせる環境を整えるため、施設内の動線や段差、安全設備の見直し、発達に応じた教材の整備を段階的に進めていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」富士宮校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 8

回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	2	1	0	多動がある子なので前の場所を知っていると少し物足りないかもです。	移転に伴い、ご迷惑をおかけしており大変申し訳ありません。現状あるスペースを十二分に活用することができるよう、職員間で話し合い・対応していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	1	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	1	0	0	保護者との面談や本人との会話の中から、どのような支援が必要かとでも考えてもらっています。	ご家庭や園での状況に合わせた適切な支援を今後も継続して提供していくことができるよう日々支援内容について検討していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	1	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	1	1		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0	不明な点がないかわかりやすく説明をしてもらいました。	今後もより丁寧な説明を心がけていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	0	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	0	3		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1	0	0	相談しやすく、こんなのもありますよなどいろいろなことを知識して教えてくれて凄く助けられています。	ありがとうございます。他関係機関との連携や情報収集等継続して行い、必要に応じて情報提供をさせていただきます。また、相談等今後もお気軽にお声かけ下さい。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0	まだ、利用して数週間ですがあまり緊張することもなく、リラックスして通うことができています。	居場所として子ども達がのびのびと過ごすことのできる環境や関りを継続して行っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0	とても楽しみにしています。あっという間に時間が経っています。	子ども達がわくわくしてすごすことができるよう支援を継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1	0	0	どの先生も優しく声をかけてくれるので、本人も今まで以上に自信を持ち、色々なことに取り組むことができています。	子ども達に合わせて、職員も適切な行動や対応ができるよう真摯に向き合っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」富士宮校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者様それぞれの特性や状況に合わせて教室を使い分けている。	移転後スペースが狭くなってしまっているため、粗大運動に変わる支援内容の工夫をしていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			職員の配置数は適切ではあるが、体制的に十分ではないため人員の確保をしていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		事業所内設備に関して可能な限り改善に取り組んでいく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃と消毒を行い、清潔で心地よい環境作りに努めている。支援の活動内容に合わせた空間作りに配慮している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用者の特性や状況に配慮し、支援室を柔軟に活用できる環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		支援報告を都度実施し、個別目標に沿った支援内容の確認や改善提案が行える体制を構築している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様の意向を職員間で共有し、支援や業務の質向上につなげるための改善に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		随時、職員間で意見交換を行える体制を整え、その内容を業務改善に活かしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価を受けていないため、今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に内部研修や外部研修の機会を設けている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムの公表をしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者および利用者のニーズを丁寧にヒアリング・アセスメントしたうえで、支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		指導員と児童発達支援管理責任者が会議を行い、共通理解を図ったうえで支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容に沿った支援内容の構築を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメントツールを活用し、客観性のあるアセスメントが行えるよう努めている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの内容も個別支援計画に盛り込み、保護者・利用者へのヒアリングをもとに適切な支援を行うことができるように努めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで都度話し合いを行い、様々な意見を反映した立案ができる体制となっている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者様の变化や課題を都度把握し、個々の状況に応じた柔軟な支援を実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用者様一人ひとりの特性や状況に応じ、個別療育と集団療育を柔軟に組み合わせることで、最適な支援提供に努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員間で利用者の最新の様子を共有し、個々の状況に応じた支援内容の検討を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		報告会を行い情報共有に努めている。就業時間間際まで支援していた場合は翌営業日に共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録の管理により、職員全員が常に情報を共有・確認できる仕組みになっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的な面談とアセスメントを通じて、個々の状況に応じた計画の見直しと改善に努めている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者・管理者に加え、担当指導員も参加するなど、適切な関係者が参加できる体制を整えている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関とその都度情報を共有し、連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相互理解を図ることができるように情報共有に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		事業所で行ったこと、計画、モニタリングについて書面にし、保護者様を通して情報共有を行っている。	移行会議があれば今後も積極的に参加していきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		児童発達支援センターとの連携が弱いため、情報共有を定期的に行えるような仕組みや体制作りに努めていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		必要があれば今後検討をしていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了後に保護者様と情報共有の機会を持ち、共通理解の形成に努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		相談を受けた際には時間を確保して話し合いを行い、可能な範囲で助言や支援が行える体制を整えている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、変更時には都度書面にて説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様と利用者様の意思を尊重しながら支援を進め、随時確認を行っている。	

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者様と利用者様からの聞き取り内容を反映した計画を説明し、同意の上で支援を進めている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご相談のある際は出来る範囲内での助言、支援を行える環境を整えている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後検討をしていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情やご意見を受け付ける窓口を設け、いただいた際には早めに対応するよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		事業所内掲示やインスタグラム、ブログ等で情報発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の含まれる書類等は鍵付きロッカーに保管し、取り扱いにも留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者様の特性や理解のしやすさに合わせて、言葉だけでなく、絵や写真、実物などを用いて伝えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後実現出来るように検討をしていきたい。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを玄関付近の見やすい場所に設置し、常時閲覧可能な状態としている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月様々な場面を想定し訓練を行っている。訓練後、職員間で意見交換を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様にお話を伺いながら、毎年情報を見直し、日頃から利用者様の様子を確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事の提供を行っていない。契約時にアレルギーの確認を行っている。該当物質がある場合は配慮を行う。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		利用者様にも訓練や研修に参加していただける機会を設け、安心して支援を受けられる環境を整えている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難場所の確認および安全計画に基づく情報を、保護者様にお知らせしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット発生時には報告書を作成し、今後の運営改善に活かせるよう職員間で情報共有を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを策定したうえで研修を実施し、さらに外部研修で得た知識や情報も職員間で共有している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に保護者様への説明を行い、身体拘束が必要と判断される場合には慎重に検討して対応する。	